



北越公用記録

揚屋議定書

ワ 3
3345
22



門 保 3
9.945
卷 22

楊臣微之書

二冊 一冊 下

故友早川早治氏遺愛之記



卷中書附之事

一 為九月廿二日之夜空回屋在東之夏抱女如
うに夜に北市於同職之朝之刻其夜在因
小治大谷屋之系り由之而蕙所中而深屋古
白紙より一紙一白下有習之通ひ系り山平
二階之書之習之通ひ由之及楊臣微之
人此等之通ひ古交の故に楊臣微之等の中

此の五巻の七巻の引合の事は、
私國傳仕内懸り所為の事、
善者も、
御交託の事、
用之也、
只今出令の事、
仲之旨の事、
百三十九番の事、

此の格別、
物とて、
三々、
い、
傳る事、

馬保の事、
古の事、
山石の事、

二巻、
下巻、
此世の事、

想り状

故月遊仙後屋弁壽方と書山を清高也
と云々以て吾人の所連行是月其方終
過し而世道は世道に引會ひては
多岐とす而存世お言早走る吾人仕打
指す世の始りも中比弁壽多美り云々
引更書世の始りも中比弁壽多美り云々
不斗も列命に指すもお言。百病に對し
不意悲之文終然に身世の始りも中比弁壽

お言世は清高也と云々
弁壽多美り云々
と云々

拖女龍云志又從之節
赤飯お送りの文在指音限り
後り中法を以て記過し
運て後者、由以其古語
外お力、ハ知る、云々

天保八年十一月十日

之親在後方

之親在後方

仲々召元申

也忍以書付此將私書中上之

由為不承者其信乃及上幸之所至至何三次
之由是より存中上之私帳為年一十七也之親如
公之一年女子也年凶他打續昔方出更
兼以付立今年以氣己年一古五ノ町富士山

馬島也(年)季存之(道)入(去)申年一三月
節先不為十月未也(人)二云孫子(子)臨一
以(付)其(信)信(為)小(為)知(為)子(孫)入(子)來(死)後
以(年)信(為)小(未)也(人)三(是)之(令)之(親)陳
以(孫)之(之)未(也)小(未)也(人)四(是)之(令)之(親)陳
三(項)中(信)之(子)之(其)信(文)一(口)是(為)山(信)一(三)信(子)
於(子)之(信)進(出)一(信)信(信)信(人)三(信)久(也)信(與)
中(信)之(子)之(其)信(文)一(口)是(為)山(信)一(三)信(子)
物(子)一(三)信(信)信(信)之(信)通(之)一(口)之(信)子

おのれ家... 爲そ... 借合... 山節... 強了... 務新... 之... 而仕... 中

幸思... 一月... 御嫌... 以上

天保八年十月廿

新嘉... 古... 神田...

新嘉... 神田...

分ノ意ヲ引入右様如女在子孫ノ男孫ノ所
 之ヲ集ニテ之ヲ一日ニテ成ルヲ其ノ上ニ割
 法國ノ其ノ名多ク市中ニ成ル時ニ其ノ所
 押取ニシテ其ノ所ニ其ノ意ニテ其ノ所
 何分自弱ニ其ノ所ニ其ノ意ニテ其ノ所
 随テ其ノ所ニ其ノ意ニテ其ノ所
 自外ノ意ニ引入右様理不其ノ文其全
 初其誠多ク其ノ所ニ其ノ意ニテ其ノ所
 礼の所其ノ意ニ其ノ所ニ其ノ意ニテ其ノ所

信、指、出、者、毛、ニ、作、身、ノ、下、至、何、事、以
 抑、意、眼、ノ、右、形、ノ、通、ニ、作、身、ノ、下、至、ノ、強、有
 信、合、ノ、意、也、
 有、之、強、也、ニ、作、之、下、至、何、事、於、之、以、之

三保八年十一月

古二所形人

在張二市

今、所、所、合、也、
 小、所、所、利、也、
 今、所、所、在、也、
 始、所、所、在、也、

古史六所

在後

三四卷花

備已如卷八

當山居清

海山居古

眼耳主平反

甲申京高反

新中一札之事

一 年

吉中

一 籍

吉中

右之通了新了平不重向中今之
 通一平對強之新了吉中為日
 及通中平通之平格別以群合
 其之平月十平之平更之平何物
 之通之平通之平通之平通之平
 通之平通之平通之平通之平
 通之平通之平通之平通之平
 通之平通之平通之平通之平

平徳入一札仍如件

天保八年三月三日

會澤屋全吉

上能
下能
此在箱中

此上至徳吉
此下至徳吉

送書

右徳入一札仍如件

天保八年三月三日
會澤屋全吉
此上至徳吉
此下至徳吉

天保八年三月三日

會澤屋全吉

上能
下能
此在箱中

此為以上書本遺稿

私九仲古習古出所留山正情嘉節花心
後在的不在如多付去月七不無及嘉情
治交之玉居山三取東山言此將和中之不
子來此以之若海東山利解之可定山也之休
望以治子今以一云一接得無之為也必
極一日也中曰極難之受事何之極也今年
以表抱意善者之也入者之之無也
之也中何之無也信交之之之與獨之之被

也出亦忘必死与難思情純之無嘉情以友右想
蘇一之君子略日可之之之之分能之有等者
於至自然与每之之之之之之之公外之在何
時交他之可也之之之之之之之先年
力最貴也情也者之不之也信以友也取
格也者之別之也年以也之也之也信者也即
之也後家名系于信交也之自也之也之也也
也也交之也之也也之也之也也也也也也
也也之也之也也之也也也也也也也也也

此為抄述之書物、清高、不限一日、兼業、
 美、兼、留、此、時、節、在、馬、入、以、以、之、常、書、
 之、改、或、為、之、為、格、此、以、為、子、來、未、也、
 此、以、之、以、札、的、之、之、之、之、之、之、之、之、
 以、格、之、你、何、清、高、之、句、神、仲、之、之、之、
 格、以、神、樣、之、之、你、何、之、之、之、之、
 以、何、之、以、神、樣、之、之、之、之、
 之、之、之、之、之、之、之、之、
 右、之、之、之、之、之、之、之、之、

古立所

天保八年
十一月十日

揚子江

揚子江清高
 三四五
 揚子江清高
 揚子江清高
 揚子江清高

古立所

廣州文古
 廣州文古

此道教者之中心所相者亦當其時而文
在學之有也其唯中矣其臣報花代金書
其信及後其出一一月時其後因彼以
一山修而後其印亦其後亦其也色獨其
當山之清其方也

其出一月一札之事

去月十二月仲之月也其信亦其後亦其
信其及後其出一一月時其後因彼以
一山修而後其印亦其後亦其也色獨其
當山之清其方也

此道教者之中心所相者亦當其時而文
在學之有也其唯中矣其臣報花代金書
其信及後其出一一月時其後因彼以
一山修而後其印亦其後亦其也色獨其
當山之清其方也

但一書を牛角の御子如印と申す

とあり候

一 越中北河内守止之 坊主此所住之 白福

子祝与号一花より 梅屋一死り如太可如

如事

有之 張尚又此處を以て 寺に 作出若くは

之を於て 寺に 在居り候之 作付寄之月

節白く之思ふ あり此處を 寺に 志えり

寺に 寺に 寺に 寺に 寺に 寺に 寺に 寺に



廿三日

之

在居

之

在居

仲之旨元中

御報云々

一 梅女名新之 文 諸福納 之 根 ちり 梅 柳 之

形 之 下 名 ちり 之 ちり 之 ちり 之 ちり 之 ちり 之

一 梅 柳 之 形 之 ちり 之 ちり 之 ちり 之 ちり 之

一 梅 柳 之 形 之 ちり 之 ちり 之 ちり 之 ちり 之

有準、同、不、安、有、事、如、事、

一 昔衣裳温帳子、白御端、素衣裳、

之、其、之、御、亦、何、是、日、之、不、亦、用、下、之、御、

御、之、御、亦、何、是、日、之、不、亦、用、下、之、御、

一 故、御、之、衣、令、銀、為、電、甲、御、那、亦、御、之、御、

亦、御、如、事、

似、一、之、御、之、衣、令、銀、為、電、甲、御、那、亦、御、之、御、

御、之、御、亦、何、是、日、之、不、亦、用、下、之、御、

一 故、御、之、衣、令、銀、為、電、甲、御、那、亦、御、之、御、

年年四月文政元、二年七月、

之、其、之、御、亦、何、是、日、之、不、亦、用、下、之、御、

一 故、御、之、衣、令、銀、為、電、甲、御、那、亦、御、之、御、

之、其、之、御、亦、何、是、日、之、不、亦、用、下、之、御、

之、其、之、御、亦、何、是、日、之、不、亦、用、下、之、御、

之、其、之、御、亦、何、是、日、之、不、亦、用、下、之、御、

之、其、之、御、亦、何、是、日、之、不、亦、用、下、之、御、

之、其、之、御、亦、何、是、日、之、不、亦、用、下、之、御、

入石目之板... 御... 白... 有... 古...

二月

六能
七能
在...

...

仲...

...

...

去... 抱... 持... 却... 以... 之... 以... 備...

今一様、其のとも、其の如く、作らば、若くは、
之を、歌、よ、ま、し、た、れ、之、記、れ、り、と、白、梅、其、の、
其、の、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、
い、れ、る、と、い、ふ、は、其、の、う、ち、に、お、し、め、の、
其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、お、し、め、の、
其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、お、し、め、の、
其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、お、し、め、の、
其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、お、し、め、の、
其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、お、し、め、の、

之、其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、
其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、
其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、
其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、
其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、
其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、
其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、
其、の、う、ち、に、お、し、め、の、う、ち、に、

其、の、う、ち、に、

其、の、う、ち、に、

其、の、う、ち、に、

其、の、う、ち、に、

一 妾女御也...
 一 若井礼...
 一 掃...
 一 妾女御...
 一 妾女御...

一 妾女御...
 一 妾女御...
 一 妾女御...

結核不吉地... 不吉月

一 如月... 不吉月

三月... 不吉月

一 如月... 不吉月

一 如月... 不吉月

一 如月... 不吉月

花代... 不吉月

蓮用... 不吉月

三月... 不吉月

古三所 山日 平野 堀屋 古三所
梯を 山日 平野 堀屋 古三所
か川 山日 平野 堀屋 古三所
ま 山日 平野 堀屋 古三所

古三所 古三所 古三所 古三所
能名 古三所 古三所 古三所
梯を 古三所 古三所 古三所
か川 古三所 古三所 古三所

古三所 古三所 古三所 古三所
福を 古三所 古三所 古三所
か川 古三所 古三所 古三所

古三所 古三所 古三所 古三所
仁平 古三所 古三所 古三所
あ 古三所 古三所 古三所

古三所 古三所 古三所 古三所
小海 古三所 古三所 古三所
利脚 古三所 古三所 古三所

古三所 古三所 古三所 古三所
古三所 古三所 古三所 古三所
古三所 古三所 古三所 古三所

御存心新様

熊谷山崎 忠氏

松平左衛門守直 忠氏

小野元相 忠氏

新田守直 忠氏

栗林元忠 忠氏

但馬守 忠氏

十七日 所 吉川系

柳本元吉 忠氏

他 〇 忠氏

十七日 所

柳本元吉 忠氏

表 忠氏

十七日 所

後 忠氏

年 忠氏

苗 忠氏

年 忠氏

布 忠氏

梅 忠氏

三 忠氏

右ノ川村清高様呈越之此様以願出古希様治
本寺ニ希様着葉三日ニ希様柳柳列席之上

柳柳様ノ記 柳柳ノ中ノ何与清高ノ一ノ平古馬ノ

ノ金銀ノ力ノ高ノ一ノ舟日候ノ一者大ノ百飛出ル

古三ノ 養屋善八 平野即里ノ 青山^{善八} 山宮^{善八}

此回ノ金銀ノ 何と云候方ニ 何と云候方ニ 何と云候方ニ

松柳ノ高ノ 何と云候方ニ 何と云候方ニ 何と云候方ニ

日地ノ新志 録^和三ノ年 根^和三ノ年 清^和三ノ年

備^和三ノ年 備^和三ノ年 備^和三ノ年 備^和三ノ年

梯^和三ノ年 三ノ年ノ一ノ日 何と云候方ニ 何と云候方ニ
何と云候方ニ 何と云候方ニ 何と云候方ニ 何と云候方ニ
何と云候方ニ 何と云候方ニ 何と云候方ニ 何と云候方ニ

三ノ年 十ノ日

老翁

古所

何と云候方ニ

何と云候方ニ

何と云候方ニ

何と云候方ニ

Faint, illegible handwriting on the right page of an open book. The text is written in a cursive script and is mostly obscured by bleed-through from the reverse side of the page. Some faint words like "The" and "and" are visible at the beginning of lines.

